



# きずな

## トラック協会杯 第32回全道U-11 少年サッカー大会 札幌地区予選

**FC.DENOVA札幌、札幌ジュニアFC、上江別 Jr.FC**

**全道大会進出おめでとう！！**

札幌で開催される全道大会の札幌地区代表を目指して3ブロックに分かれて各会場で熱戦を繰り広げました。結果、上記3チームが全道大会に進出することになりました。

コロナ禍の影響で札幌予選開催が危ぶまれたが、無観客試合、父母引率者を1名にするなど感染対策を徹底して、3ブロックの代表決定戦が行われた。残念ながら後日、全道大会の開催中止が決定する事になった。

### Aブロック代表決定戦

8月29日(日)東雁来公園サッカー場西面(A)

**One Eight FC**

**FC.DENOVA札幌**

0

0-0

0-1

1

晴天のサッカー日和のなか、12時15分にDENOVAのキックオフで代表決定戦が始まる。

開始1分 One Eight 7番が右サイドにドリブルで抜け出しクロスを上げるも DENOVA のGKがセーブする。

その後も One Eight が攻撃的な立ち上がりからの勢いで攻め込む、前半6分から One Eight は3本のCKを得るも得点には結ばず。

前半8分 One Eight 11番が良い状態でインターセプトしシュートまでいくが DENOVA のGKがフライングセーブする。



前半12分 DENOVA 13番→12番→13番のコンビネーションからシュートまでいくが One Eight のGKが正面でキャッチする。

前半終了間際に DENOVA 16番がペナルティエリア付近からシュートを放つもゴール右へ外れる。その後も両チーム得点を決められず、前半は0-0で終了する。





後半は One Eight のキックオフで開始。  
 後半開始 1 分 One Eight の F K に抜け出した 8 番がシュートも DENOVA の G K がセーブする。  
 その直後も One Eight 8 番にチャンスが有るが、決めきれず。  
 G K を中心に粘り強く守備を続けた DENOVA が後半 3 分に 1 3 番がペナルティエリア左付近からパス、パスを受けた 2 番が冷静にシュートを放ちゴール右に決める。  
 後半 5 分 One Eight 7 番が直接 F K を放つもゴール右へ外れる。  
 後半 1 3 分 One Eight が立て続けにシュートを打つも DENOVA の G K がここでもファインセーブを連発する。  
 その後も 1 点を追う One Eight が攻め続けるが DENOVA の粘り強い守備で相手の攻撃を防ぎ、後半終了のホイッスルが鳴り響き試合終了。  
 少ないチャンスをものにした DENOVA が札幌代表 1 番乗りとなった。



## Bブロック代表決定戦

8月29日(日)東雁来公園サッカー場西面(B)

札幌ジュニアFC

LIV football club

2

0-0

2-1

1

若干、横風が強いものの、夏の終わりの晴天で絶好のコンディションの中で熱戦が繰り広げられた。

Bブロック代表決定戦は、L I Vのキックオフで 1 3時から試合が始まり、序盤は双方ともに中盤からボールをつなげようとするも、厳しい競り合いでお互い、なかなか好機をつくれぬ。

試合が進むにつれ、札幌ジュニアは、前線で F W 6 6番のボールキープから M F 3 0番が連携しての左右への展開で好機をうかがい、一方の L I Vは D F ラインからのビルドアップで右 M F 5 7番、左 M F 4番へのパス供給で好機をつくり、シュートを打ったが相手 G Kの好セーブなどもあって、前半はスコアレスで折り返した。

後半は、札幌ジュニアのキックオフ直後に、L I Vの D Fのクリアミスでボールを拾った札幌ジュニア 6 6番が相手 D Fに詰められる前にミドルシュートを放ち、G K頭上を越えてゴールに吸い込まれ先制した。

L I Vは追いつこうとギアを上げ、3分に左 M F 4番がフリーでパスを受け、迷わず足を振りぬいたところ、G Kの頭上を越え得点し、同点に追いついた。その後、札幌ジュニア、L I Vともに中盤のパス交換からパスがつながりだし互いにチャンスをつくって試合が進み、このまま延長戦突入かと思われた後半 1 2分、右 C Kを得た札幌ジュニアは、ゴール前での混戦からペナルティエリアから、こぼれてきたボールを拾った 6 6番が冷静にシュートを打ち、ボールが G Kの脇を抜けてゴールに吸い込まれた。

L I Vは追いつこうと必至に攻めるも、逆に攻め込まれる場面が多くなり、札幌ジュニアが 1 点差を守りきり試合終了のホイッスルが鳴り響き、Bブロ



ック代表決定戦を制することになった。



Cブロック代表をもぎとった。両チームともに長時間にわたって集中を切らさず、スコアレスでPK戦までもつれた好試合だった。



### Cブロック代表決定戦

8月29日(日)東雁来公園サッカー場西面(A)

上江別 Jr.FC

札幌藻南FC

0

0-0  
0-0  
0延長0  
3PK1

0

Cブロック代表決定戦は、13時15分に札幌藻南のキックオフで試合が始まり、中盤での激しいチェックで両チームともにボールをなかなかキープ出来ない、上江別 Jr はFW10番のドリブルからの左右への展開、一方の札幌藻南は相手DFライン裏にFW3番へのパスで攻めようとするも、両チームともに決定的なチャンスをつくれず前半を終えた。

後半は、札幌藻南のキックオフで始まった。前半同様に双方の激しいプレスでゴール前にボールを運べず時間が経過した。札幌藻南は左18番が右MF14番へのボール供給から、上江別 Jr はMF右9番、左8番のパス交換から、互いに数度シュートを放ったが、ゴールを外れるなど決定機がないまま後半も終え、延長戦に突入した。

前後半6分間の延長戦でも同様の展開で、互いに押し込む時間帯もあったが、DFラインとGKの好守備もあって、スコアレスのままPK戦突入となった。

PK戦は、両チームともに緊迫した雰囲気が漂う中、上江別 Jr の先攻で始まり、1人目が冷静に決めた後、札幌藻南1人目は狙いすぎたかゴールポスト右に外れた。上江別 Jr は2人目が決め、札幌藻南も2人目が決めたが、上江別 Jr は3人目も冷静にゴールを決め、3人ともにPKを成功させた上江別 Jr が